

第5・6学年 社会科学学習指導案

喜界町立早町小学校

教諭 山元 隆一

【5年】

- 1 単元名 私たちの生活と工業生産
「自動車をつくる工業」

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

第5学年では、第4学年までに学んできた地域学習を発展させ、国土に展開する産業や各地の暮らしを具体的に調べる活動を通して産業や国土の様子および産業と国民生活との関連について理解させるとともに、環境保全や資源保護の重要性について関心を深めさせ、国土に対する理解と愛情を育て、公民的資質の基礎を育てることをねらいとしている。

そこで本単元を設定し、便利で快適な国民生活をささえる工業生産について、工業生産に従事している人々の工夫や努力、運輸の働き、各種の工業生産や工業地域の分布などを調べ、工業生産が国民の生活をささえる役割を果たしていること、その一方で、公害や貿易摩擦など、さまざまな問題点があることを考えさせる。

(2) 指導の基本的な立場

本単元の構成は、具体的な「自動車工場」を最初に取り上げ、次に、「工業地域と工業生産」を取り上げ、日本工業の現状や特色をとらえさせる。具体的な内容から、抽象度の高いものへと学習を展開することにより、調べや考える観点を明確にして学習を進められるようにさせる。

小単元「自動車をつくる工業」においては、「自分の好きな車選び」や「バーチャル工場見学」を通して、自動車工業生産に興味・関心を持たせる。そして、自動車生産が、効率よく、しかも安定して行われているわけについて、関係する仕事をする人々の協力や関連工場との協力、機械やロボットによる生産の工夫などに関連づけて考えるさせる学習へと展開する。また、これからの自動車づくりについて、人と環境に焦点を当てて考えさせる。

【6年】

- 1 単元名 日本の歴史
「明治維新をつくりあげた人々」

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

第6学年では、中学年の地域学習、5年の日本の国土と産業の学習で培ってきた、地理的・歴史的・公民的内容に関する知識、技能、態度などをもとに、日本の歴史と伝統、国の政治の働き、国際社会における地位や役割などについてとらえさせ、公民的資質の基礎を育てることをねらいとしている。

そこで本単元を設定し、我が国の歴史的な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えさせるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めさせる。また、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てる。

(2) 指導の基本的な立場

本単元の構成は、まず大導入で、自分たちの身の回りや地域から歴史への興味・関心をもてるように、調べ学習や体験的活動を含めて例示する。また、人物・文化遺産の学習の方法を示し、これから学習を主体的に進められるようにさせる。各時代の展開にあたっては、人物・文化遺産を中心に、その周辺の歴史事象を含めて展開し、それらを通じて、時代の特色が分かるようにするとともに、歴史は、現代に向かって発展してきている事を理解させる。

小単元「明治維新をつくりあげた人々」新しい世の中を作り上げようとした人物の働きに関心をもたせ、明治政府が近代国家としての組織や形態を整えていった様子を年表、文集、写真、図、インターネットなどの資料から、明治政府の諸政策や当時の人々の生活などを調べさせる。また、明治政府の諸改革が、欧米の

(3) 指導上の留意点

- ア 自動車のパンフレットやホームページで公開している自動車をみて、人によって好きな車が違うため、種類が多くなることを気づかせ、それらの多くの車を短期間につくる工夫に目を向けさせ、問題を意識させる。
- イ バーチャル工場見学を行うことで興味・関心を持たせ、教科書だけでは理解しにくい物を動画で調べさせる。
- ウ 自動車の発達により社会や生活が変化したこと気づかせさせ、車社会の良さと問題点を調べさせる。

3 目標

- (1) 自動車工業の生産の様子について調べようとする意欲を持ち、それらの活動を通して、人と環境に優しい車づくりに関心をもつことができる。
- (2) 自動車生産が、効率よく、しかも安定して行われているわけについて、関係する仕事をする人々の協力や関連工場との協力、機械やロボットによる生産の工夫などと関連づけて考えることができる。
- (3) 写真や働く人の話（文章資料）と、各種の統計資料を目的に応じて読み取り、自動車生産の特色をとらえることができる。
- (4) 自動車工場の生産の特色と課題、働く人々の工夫と努力について理解することができる。

文化を取り入れつつ近代化を進めていったことを考えさせる。

(3) 指導上の留意点

- ア 西郷、大久保、木戸に着目し、開国後の17年間の急激な世の中の変化をとらえさせ、新しい世の中つくりあげた人々の働きに関心を持たせる。
- イ 文明開化について、インターネットによる資料により、課題意識を高め、興味・関心を持たせる。
- ウ 富国強兵・自由民権運動については、政府や人々の立場に立って話し合いながら、問題点を見つけさせる。

3 目標

- (1) 新しい世の中を作り上げようとした人物の働きに関心をもち、日本の近代化の様子を意欲的に調べようすることができる。
- (2) 明治政府が近代国家としての組織や形態を整えていった様子を、当時の日本社会や外国との関係から考えることができる。
- (3) 年表、文集、写真、図などの資料から、明治政府の諸政策や当時の人々の生活などを調べることができる。
- (4) 明治政府が、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めていったことがわかる。

4 指導計画（5年・・・全9時間）

（6年・・・全7時間）

第5学年	第6学年
1 自分の好きな車を選んでみよう ①	1 新しい世の中が開かれる ①
2（本時）自動車をつくるひみつ ①	2 若い武士たちが新しい政府をつくる ②
3 シートを取りつける仕事 ①	3（本時）ヨーロッパのように文明開化 ①
4 シートをつくる工場 ①	4 富国強兵を進める ①
5 小さな部品をつくる工場 ②	5 自由民権運動が広がる ①
6 ジャストインタイムで運ばれる部品 ①	6 国会が開かれる ①
7 20世紀の大ヒット商品、自動車 ①	
8 人と環境にやさしい自動車 ①	

5 本時

(1) 目標

- ・インターネットによるバーチャル工場見学を通して、自動車が次々とつくられるひみつについて調べることができる。
- ・自動車が次々とつくられていくひみつについて、ノートにまとめることができる。
- ・インターネット資料「東京初めて物語」から、文明開化について興味を持ち、その様子を進んで調べることができる。
- ・様々な資料から、文明開化の様子を具体的に調べることができる。

(2) 本時の展開にあたって

- ・本時では6学年がつかむ過程で、5学年が調べる過程でパソコンを使い、どの学年も使用できるようにする。
- ・バーチャル工場見学を行うことで興味・関心を持たせ、教科書だけでは理解しにくい物を動画で調べさせる。
- ・インターネットによる資料により、課題意識を高め、興味・関心を持たせる。

(3) 実際

過程	指導上の留意点	主な学習活動	教師の位置	主な学習活動	指導上の留意点	過程
つかむ	1 前時の学習で出てきた学習問題を確認し、自動車が次々とつくられるひみつを予想させる。	1 自動車が次々とつくられるひみつを予想する。 2 学習課題を確認する。 自動車工場を見学して、自動車が次々とつくられるひみつを調べよう。	7	1 「東京初めて物語」のホームページより、明治時代になって作られたものや始まったものを見つけ、気づいたこと思ったことを話し合う。 東京初めて物語	1 明治時代につくられたものや始まったものから、くらしの様子が、大きく変わったことに気づかせる。	つかむ
調べる	3 Web ページのURL が書かれたカードを配り、自分が見たい工場に行かせる。 ホンダ（鈴鹿製作所） http://www.honda.co.jp/suzuka/ 日産 http://www.nissan.co.jp/COMPASS/nft.html	インターネットを使いバーチャル工場見学をする。	3 20	2 学習課題を確認する。 明治になって、くらしはどのように変化したのか調べよう。 3 文明開化とは、どんなことだったのか調べ文明開化について、気づいたことや思ったことを発表し合う。	2 文明開化について調べようとする意欲を持たせる。 3 変化がいろいろな分野に及んでいること、急激だったこと、現在の生活とのつながり、当時の人々の驚きやとまどいが捉えられるように参考図書や資料を準備する。	調べる
まとめる	4 画像や動画により、ベルトコンベヤーによる流れ作業の様子や大型機械やロボットが使われていることをとらえさせる。	4 車体をつくる工程について作業の様子や工夫などについて話し合う。 5 話し合いをもとに、自動車が次々とつくられていくひみつをまとめる。	5 3 10	4 文明開化についてまとめる。 5 大きな都市以外（自分が住んでいる地域）では、文明開化はどう 黎明館 だったか調べる。	5 Web ページのURL が書かれたカードや資料を準備する。	まとめる